昭和二十二年二月一日　第二百五十二號
（第三種郵便物認可）　昭和二十二年二月一十九日　いわき民報　（土曜日）

いわき民報

國内に誇る鹽と氷の生産

待望の日本製鹽勿來工場竣功

鹽餓饉の折柄、縣民待望久しかつた勿來町大日本製鹽工場の竣功式は朝野名士五百余名招き一日午前十時から同工場で盛大に擧行される、同工場は冷凍裝置に依る日本最初の大規模な製鹽工場であり日産十トンの鹽と日産三百トンの氷を作ることになつてゐるため、全能力を發揮すると農漁村の鹽と氷不足が相當緩和されることになる

日産十トン　驚異的記錄

新裝成つた日本製鹽會場は四月中に竣工、氣候適應の上六月中旬から製鹽開始の豫定であるが、勿來工場の落成式には社資本金二千萬圓の勿來工場は七月頃竣工、日本勸業銀行總裁西田來工場は二千三百萬圓の豫定でこれが全部完成すると日本製鹽會社の工費を投じ昨年五月着工終戰後の資材だけで一ケ年一萬トン、日本銀行福島支店長八日起工終戰後の資材だけで一ケ年一萬トン、日本銀行福島支店長難を克服して一ケ年以といふ莫大な鹽を作る、山林鐵男、郡山專賣局内にあの大工場を完成ことになり、國家的見地からも裨益するところ頗る大である

工場の敷地は勿來町關田海岸に八千坪を占め、工場は海水濃縮工場、製鹽工場、事務所、倉庫、社宅等千五百坪を超へ冷凍製鹽機の如きは精密を要するため自營工場を設けて補修するなど拗からず困難を極めた

目下電力節減のため三百キロにより送電されないため、三分の一以下の能率より發揮出來ないが、豐水期の四月結成を兼ね第一回委員會を開催することに決つた

□支部長渡邊地方事務所長□常任委員小笠農業會石城支部長　橋本町村長會主事　寺内常陽銀行平支店長芳賀地事總務課長

通貨安定　推進委員會

石城郡支部結成式　來四日常銀支店で

□委員加藤平稅務署長渡邊植田町長西山大野村長、菅原安田銀行平支店長菅原嘉悦、勸業支店長庄子七十七銀支店長、二瓶東邦銀平支店長、大平磐崎村農會長、長谷川四倉漁業會長、福尾小名濱信組專務理事、工藤小名濱郵便局長、飯島常磐炭鑛庶務課長、吉田日水小名濱工場總務部長、吉田江名地區配給所主任瀬野靜思取締役

好間村つらぬき會（主宰鈴木龍一村議）むら雨會（稻葉壽三氏主宰）ひさ方會（隅田川炭摘發班を結成、徹底的ヤミ輸送に平宮遂に乘出す大衆は物資の輸送に困り切つているのであるから大歡迎ヤミ輸送に平宮遂に乘出す大衆は物資の輸送に困り切つているのであるから大歡迎）ヤミ摘發班を結成、徹底的ヤミ輸送取締り

最近トラックによる必需物資のヤミ輸送が目立つて來たので平署では明日から署員を擧げて摘發班を組織ヤミ輸送に目を光らせることになつた違反者はどし〳〵檢擧斷乎處罰する

好間で郡下かるた會

來る二日開催　三團休主催で

好間村つらぬき會（主宰鈴木龍一村議）むら雨會（稻葉壽三氏主宰）ひさ方會（隅田川炭摘發班を結成、徹底的ヤミ輸送取締り）

摘發班を結成

平署ヤミ輸送取締り　一齋に實施

最近トラックによる必需物資のヤミ輸送が目立つて來たので平署では明日から署員を擧げて摘發班を組織ヤミ輸送に目を光らせることになつた違反者はどし〳〵檢擧斷乎處罰する

二十七日午後六時半頃浮浪者風体の男が自動車に轢殺されているのを全村松崎正晴さんが發見届出によつて平署朝檢擧した一方被害者は所持品から水戸市生れ助川德藏と判つた

藤銀藏と判つた二十八日佐

轢殺トラ　御用

被害者は水戸生れの浮浪者

磐崎村藤原地内縣道に

いわき寸言

好間村つらぬき會（主宰鈴木龍一村議）むら雨會（稻葉壽三氏主宰）ひさ方會（隅田川炭摘發班を結成、徹底的ヤミ輸送に平宮遂に乘出す大衆は物資の輸送に困り切つているのであるから大歡迎ヤミ輸送に平宮遂に乘出す大衆は物資の輸送に困り切つているのであるから大歡迎）ヤミ摘發班を結成、徹底的ヤミ輸送取締り

◆酒の小賣價格引上げらる、物價のうなぎ上りの折柄やむなしといえ左黨には手痛い◆郡下にも救國貯蓄の推進に通貨安定委員が任命され、來る四日結

◆ヤミ輸送に平宮遂に乘出す大衆は物資の輸送に困り切つているのであるから大歡迎◆轢き殺しトラック捕まる、事故とし老て逃走するのは憎むべきかな

社告

本社員左記二名依願退社「福島縣漁業名かん」は米倉君の個人計畫に成るもので當社とは關係ありません

退社　米倉　勉
同　高野吉雄

郡下かるた大會

老若飛入參加見學大歡迎
會費不要、來れ〳〵同好の士

一、日時　三月二日（日曜）朝九時
一、場所　好間村字久保農業集會所
（自動車終點より約五分）
一、會費不要、來れ〳〵同好の士
明朗健全　娛樂　（小倉百人一首）

主催　好間青年親睦會　ひさ方會　つらぬき會　むら雨會

後援　好間村

バス料金（二）

一日から直に實旋

●江名線
泉ー江名四、五〇泉ー永崎三、四〇泉ー小名濱二、二〇泉ー吉川橋一、一〇永崎ー吉川橋二、四〇永崎ー小名濱一、三〇江名ー吉川橋三、五〇江名ー小名濱二、四〇江名ー永崎一、三〇小名濱ー吉川橋一、二〇

●小名濱線
小名濱ー湯本三、七〇野田ー湯本一、九〇小名濱ー野田一、九〇

●上遠野線
上遠野ー植田六、三〇植田ー下瀧四、四〇上山田ー上遠野三、八〇下瀧ー上遠野二、〇〇上山田ー植田二、六〇下瀧ー上山田一、九〇下瀧ー植田四、四〇

●玉山線
山田小湊ー四倉三、五〇中島ー四倉二、四〇田戸ー四倉一、五〇田戸ー中島九〇田戸ー山田小湊ー中島一、三〇

●出藏線
勿來驛ー出藏三、〇〇窪田ー出藏一、四〇勿來驛ー窪田一、七〇

●川部線
勿來驛ー小川三、六〇小川ー窪田二、〇〇

四倉町長には

ー花澤武藤の兩氏が壓倒的ー

松藻會の輿論調査

文化團体として活潑な活動を續けている四倉町松藻會の社會科學部では來るべき四月五日の町長公選を前にして去る二十四日町民は公選町長には如何なる人物を求めているかについて輿論調査を實施することゝし「あなたは誰に町長になつていたゞきたいと思いますかの問を發した、調査票總配布數は五百枚だつたがうち回答して來たものはざつと四分の一強の百四十三名で、記載方法違い等で無效となつたものが十一名で有效とみとめられたものは百三十一名であつた依つて二十六日杉原新伍元町長、佐藤現收入役、菅波全會々長外幹部五名が立會開票したところ左のようなせい績で花澤乙丸氏と武藤織江氏が壓倒的多數と獲得していた、回答數からみて一部町民の意向に終つているがこの結果は公選町長に青年會を中心にして一般にどんな意向を持つているかをうかゞはせるものとして興味をつてみられている

協力金で解決

新公價に惱む業者

市配給課に折衝中

牛乳の新公價問題について郡下の業者は既報の如く二十六日午前十時から市内岡田牛乳店に會合、小賣價格問題について種々對策を練つた

現價格は一合三圓であるが、こんどの改正で一圓五十錢に引下げられることになり、飼料難とにらみ合せてこれではバランスがとれず、結局市配給課から購入券交付の際一本につき二圓の協力費を徴收これで補いをつけるべく二十日代表數氏は市配給課長と懇談するところあつた

スポーツ本年計畫

市連青理事會一日に召集し

市連合青年會ではスポーツ平の實現を期するため一日午後六時から市役所會議室に理事會を召集、本年の各スポーツ計劃その他を協議

限度千八百掛

濱三郡の養蠶農民大會に強力に提案

あくまでも二千掛要求と起ち上つた郡下千八百の養蠶家を代表する技術員會議は二十七日午前十時から農業會石城支部會議室に開催種々對策を練つたが左に意見の一致を見た

◉三月初旬、原の町に開かれる濱三郡養蠶農民大會には各町村代表を贈り春蠶千百掛夏秋蠶九百掛は時代にそわぬ安値でありみん〳〵損をしてまで養蠶家は增産

◉二四票花澤乙丸◉二一票武藤織江◉十六票吉田壽三郎◉十四票石井政男◉一〇票植田萬次郎◉七票菅波公正◉七票菅波豊◉五票長谷川酉次郎◉五票長谷川長太郎（以不略）

切符購入殺到

値上げを控えきようの平驛

一日からの列車運賃値上前日のきよう二十八日は平驛出札口の殺到ぶり物凄くさすがの待合室もわんさ〳〵と押しかける乘車券購入者で大混雜を呈した驛では近距離行を無制限に發賣したが、遠距離行は依然として發賣制限を行つたゝめ購入できず歸つたものが三百人もあつたと驛當局では語つている

ほとんど進學

就職希望者も僅かに十七名

見る に生中磐

今春晴れて學窓を巣立つ年少の社會人たちの動向はどうか、縣立磐城中學校に見ると卒業生百八十七名のうち上級學校志望が百六十七名で內譯は左の如く就職希望が一割弱の十七名、家庭にとどまつて家事の手傳ひが僅か三名で、九割近くの上級學校志望者の父兄の職業はいづれも農業漁業が壓倒的でこゝにも農、漁村の好景氣がうかがはれている、一方サラリーマンの方は七百圓のわく徹廢におびやかされて殆んどが簡生活狀態であり學校どころかと云ふ傾向もみうけられる

▲高校および大學豫科四十七名▼工業專門學校五十五名▲經專四十三名▼農專十八名その他四名▲計百六十七名

◉改良簇原料藻供出について一二十一年度の郡目標は十萬貫で現在の供出狀況は三十一セント弱、この原料藻の供出についても買入値段云々があり當局の緊急策をのぞんで止まない

に勵まねばならぬのか、あくまで二千掛を要求する、たとへこれが通らぬ場合はすくなくても千八百掛以上でなければバランスがとれない

▲開業御挨拶▼
この度レントゲンを新設し左記に開業いたしました今後とも一層の御交誼をお願ひ申上ます
平市一丁目四九（公會堂通り）
レントゲン科
內科
谷口醫院
電話八番
谷口孝雄